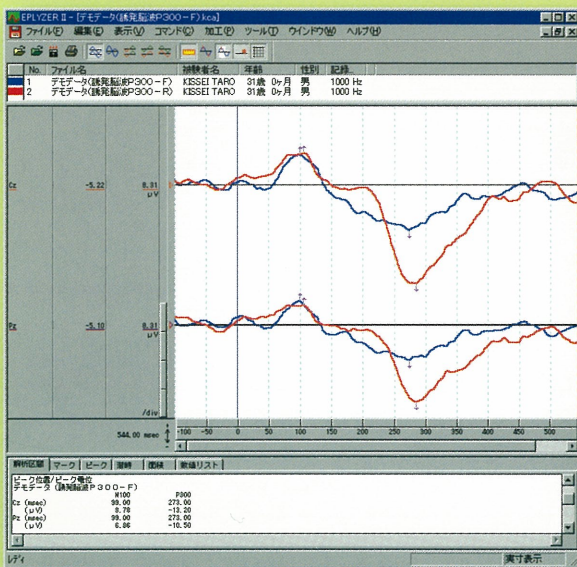


誘発電位研究用プログラム EPLYZER[®] II *for Windows*

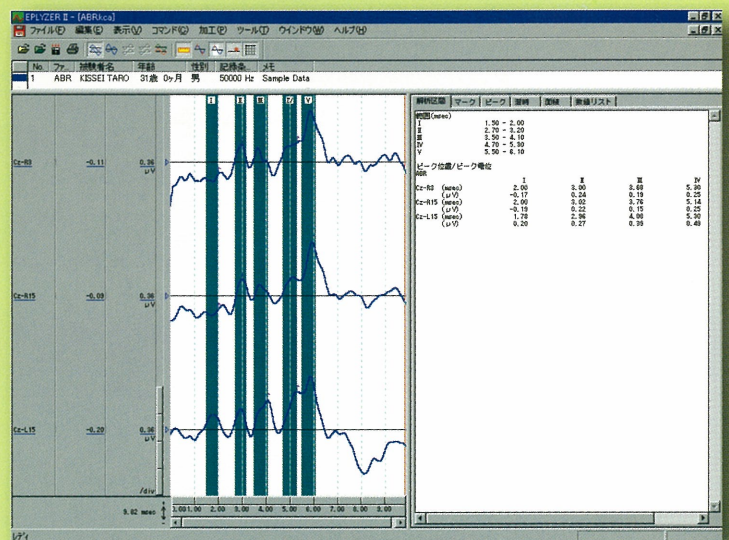
イーピーライザー・Ⅱ

Windowsで

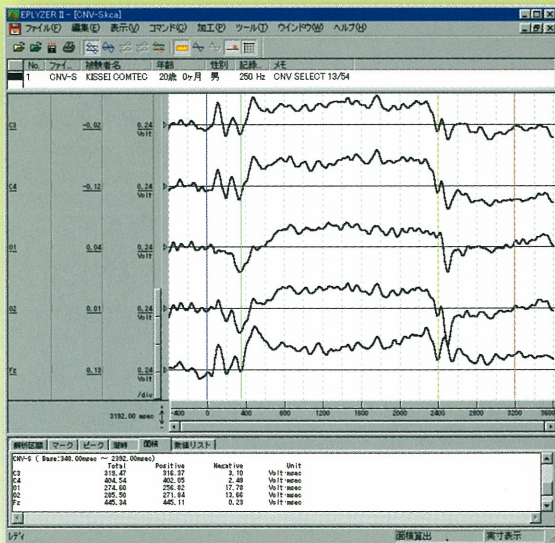
誘発脳波のリアルタイム加算から解析まで可能！
誘発脳波の研究を強力にサポート！



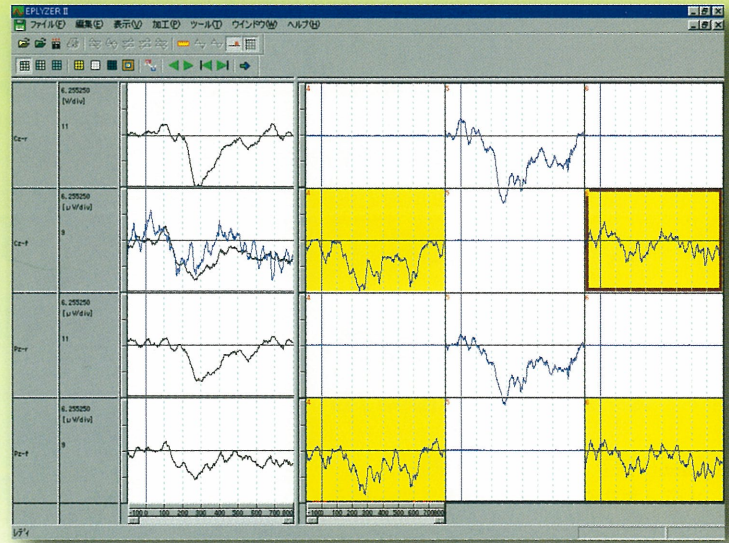
P300



ABR (聴性脳幹反応)



CNV (随伴陰性変動)



RAWデータの再加算 (P300)

— EPLYZER[®] II の特長 —

- 最大32チャンネルの誘発脳波を記録することができます(記録チャンネル数はサンプリング周波数による制限があります)。
- 聴性脳幹反応(ABR)から事象関連電位(ERP)まで記録することができます。
- データの記録中に加算波形や生波形を確認でき、表示するチャンネルや表示間隔を自由に設定できます。
- プリトリガ、ポストトリガによりトリガ点を任意に変更できます。
- 最大4種類のトリガ識別加算をリアルタイムに行えます。
- チャンネル毎のアーチファクト除去や校正が行えます。
- 記録した1つ1つの誘発脳波をRAWデータファイルに保存できます。RAWデータファイルから誘発波形を画面上で確認しながら、分別加算が行えます。
- 最大20ファイルを同一ウィンドウ上に表示できます(スーパーインポーズ)。
- 数値読み取り、潜時・振幅差計測、マーキング、面積算出、ピーク検出、移動平均、適応相関フィルタなどの豊富な解析機能が用意されています。又、潜時・振幅差計測、マーク位置の電位、面積算出、ピーク検出で得られた解析数値又は加算データ(数値リスト)は他のアプリケーション(表計算ソフト)とのデータリンクが行えます。
- 波形の単項演算や波形間での四則演算、グランドアベレージが行えます。
- 複数のファイルから必要な波形を抽出することができます。
- 加算データ、RAWデータを直接テキストファイルとして出力することができます。
- 加算データは弊社製品「ATAMAP[®] II」で誘発電位マッピングを行うことができます。

— EPLYZER[®] II の動作環境 —

パソコン	CPU : Pentium [®] II 266MHz以上 メモリ : 64MB以上 ハードディスク : 空き容量50MB以上 解像度 : 800×600以上
OS	Windows95以上、WindowsNT4.0以上 (WindowsNTでのA/D変換は動作不可)
プリンタ	各OSに対応したプリンタ
A/D変換ボード	(DOS/V ISAバスの場合)コンテック社製 AD12-16U(PC)EH・AD16-16(PC)EH (DOS/V PCIバスの場合)コンテック社製 AD12-16U(PCI)E・AD16-16(PCI)E (PC-98シリーズ Cバスの場合)コンテック社製 AD12-16U(98)EH・AD16-16(98)EH

17チャンネル以上のデータを収録する場合、A/D変換ボード以外にオプションボードが必要になります。

ホームページ : [URL] <http://www.kicnet.co.jp/>



キッセイコムテック株式会社

〒112-0002 東京都文京区小石川3丁目1番3号キッセイ小石川ビル

●製品に関するお問い合わせ窓口
 メディカルシステム事業部 マーケティング&セールスグループ
 TEL 03-3816-8902 (ダイヤルイン) FAX 03-3816-8910

●このカタログの内容は、改良のため予告なしに仕様・デザインを変更することがあります。●EPLYZER, ATAMAPはキッセイコムテック社の登録商標です。
 ●その他、プログラム名、システム名、CPU名は一般に各メーカーの(登録)商標です。●本製品(ソフトウェア)は外国為替及び外国貿易管理法の規定により、輸出規制品の対象品目に該当します。日本国外に持ち出す際には、日本国政府の輸出許可申請など必要な手続きをお取り下さい。